

北池袋つむぎマルシェ シリーズ～まちの中の達人～

本年2月9日(日)、第1回「北池袋つむぎマルシェ」(in 池袋本町2-25-3北池袋屋台)が開催されました。

会場には、米粉の焼き菓子、湯気の立つ豚汁セット、唐揚げ、角煮などおいしいそうなグルメが並び、ハンドメイドのアクセサリーやマッサージ、占いなどのブースも出店。お子さん連れの来場者も多く、的当てゲームで遊ぶなど屋前から活気にあふれていました。

このマルシェを主催したのは、「麺匠茜の舞」の中村茜さん、「美容院紡場」の橋内美晴さん、そして「夜つむファミリー」の皆さん。「夜つむファミリー」は、飲食業や美容業界のメンバーを中心とした交流会で、昨年4月から月に1回集まり、当初は10数人だったメンバーが、知り合いが広がるなかで、現在では30人にまでなったそうです。

これまでは、「美容院紡場」でイベントを開催してきましたが、参加者が増えるにつれて会場が手狭になってきたことから、今回の「北池袋つむぎマルシェ」の開催にいったとのこと。

今回の出店者の中には、本業の方だけでなく、過去のイベントのお客さんや、池袋本町に引っ越してきたばかりの方、地域のママさんがそれぞれの特技をいかして出店していました。

主催者の1人である橋内さんは、「プロでなくても、特技をいかせる場を提供し、チャンスをつくり

たい。今後は、さらに発展させて、池袋本町公園でのマルシェ開催を目指したい」とのことです。

また、「このまちに住む、とくに一人暮らしの方々が気になります。顔見知りの関係をつくり、支え合える地域にしていきたい」との想いも語ってくれました。

皆さんが楽しそうに交流し、温かい雰囲気にもまれていた「北池袋つむぎマルシェ」。第2回開催も予定されているとのことなので、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。(イラスト:井出 幸子)



不燃化特区の助成制度が2025年度(令和7年度)に終了予定です

現在、池袋本町地区の不燃化を促進するために、区では老朽建築物の建替えや除却に要する費用の一部を助成しています。

この助成金を受け取るためには、2025年(令和7年)12月26日までに助成金交付申請書の提出が必要です。また、老朽建築物を取り壊す前に区に申請し、承認を受ける必要があります。ご検討中の方は、お早めに下記にお問い合わせ下さい。

問い合わせ先：豊島区地域まちづくり課
電話：03-3981-1464

耐震診断・耐震改修の助成制度があります

2023年度(令和5年度)までは、木造住宅の耐震診断・耐震改修の助成は、【旧耐震基準】で建てられた1981年(昭和56年)5月以前の住宅が対象でした。

昨年4月から、1981年(昭和56年)6月から2000年(平成12年)5月までに建てられた【新耐震基準】の木造住宅も助成対象となりました。詳しくは下記にお問い合わせ下さい。

問い合わせ先：豊島区建築課
電話：03-3981-0590

池袋本町 まちづくりニュース

Ikebukuro Honcho
Machizukuri News
No.73

2025年3月発行

発行：池袋本町新しいまちづくりの会
http://池袋本町.net
豊島区都市整備部地域まちづくり課
問合せ先：Tel03-3981-1464
Fax03-3980-5135
編集協力：防災都市計画研究所

会員募集中

あなたのご意見をきかせてください。女性や若い世代の参加も大歓迎！参加をご希望の方は
問合せ先まで

まちづくりの会は20年目を迎えます

池袋本町新しいまちづくりの会は、2005年度(平成17年度)に「池袋本町防災まちづくりの会」から活動を引き継ぎ、2025年度(令和7年度)で、20年目を迎えます。

これまで、当会では、様々なまちづくり活動を行ってきました。



「電車の見える公園」

例えば、公園づくりでは、住民参加によるワークショップを行い、防災機能を有する「電車の見える公園」、「池本だんだん公園」が整備されました。

地元の皆様による自主管理により、いつまでも愛される公園として育っています。

また、東京都による「木密地域不燃化10年プロジェクト」により、都市計画道路補助第73号線と第82号線の整備が決定したことから、区に対して、2014年度(平成26年度)に「都市計画道路補助73・82号線及び関連まちづくりに関する提言書」を提出しています。

その後、補助第82号線と北池袋駅周辺のあり方について継続して検討しており、東京都建設局第四建設事務所と意見交換を行っています(本号中面参照)。

同年度に、災害に強いだけでなく、暮らしの豊かさや快適な環境づくりを加え、厚みのある安全安心なまちづくりを実現するために、「池袋本町のまちづくり目標とまちづくりルールに関する提言書」を区に提出しました。



提言書「まちの課題」

提言書提出から今年度で10年経ちました。この間、まちの様子は随分変化しています。

今後は、「これまでの活動」や「まちの変化」などを把握しながら、「まちづくりの成果や課題」を踏まえ、「将来に向けたまちづくりの考え方や取り組み」について、継続して検討していきたいと考えています。

池袋本町地区の将来にむけて、次世代に継承できるまちを目指し、まちづくり活動を進めてまいります。

つれづれに一言

「茜ノ舞」店主 中村茜

私は、渋谷でラーメンの修行をしたあと、東北から九州まで全国各地のイベントに呼ばれ、キッチンカーでラーメンを提供しています。

さまざまな地域のイベントに出店するうちに、「地域密着型のイベントを主催したい」という思いが強くなりました。

現在は、事故の影響でキッチンカーを持っていませんが、その分、地域活動により力を注ぐことができるようになり、「北池袋つむぎマルシェ(4ページ参照)」や「つむぎリレー&つむぎマーケット」など池袋本町でのイベント開催につながっています。

この1年で多くの方々と出会い、地域の仲間や友達が増え、目に見えてつながりの輪が広がるのを実感し、とても楽しいです。

地域の皆さまと交流を深めながら、地元にも魅力的なお店がたくさんあることを、イベントを通じて知ってもらい、さらに多くの方に、お店にも足を運んでいただけたら嬉しいです。

■■■北池袋駅周辺のあり方について、引き続き検討を行いました■■■

本年度の検討のまとめ

池袋本町新しいまちづくりの会では、都市計画道路補助第82号線の北池袋駅周辺のあり方について、昨年度に引き続き、本年度も2回にわたり、以下の3つの項目について検討しました。

- ア. 82号線を横断する通学路に歩道橋の設置
- イ. 「ひばりがや地下道」の引き続き存続と活用
- ウ. 北池袋駅へのアクセスとアンダーパス上部のフタかけの検討

特に、「ウ」については、昨年度に検討した2案について、イメージ図などを使ってメリット・デメリットを話し合いました。

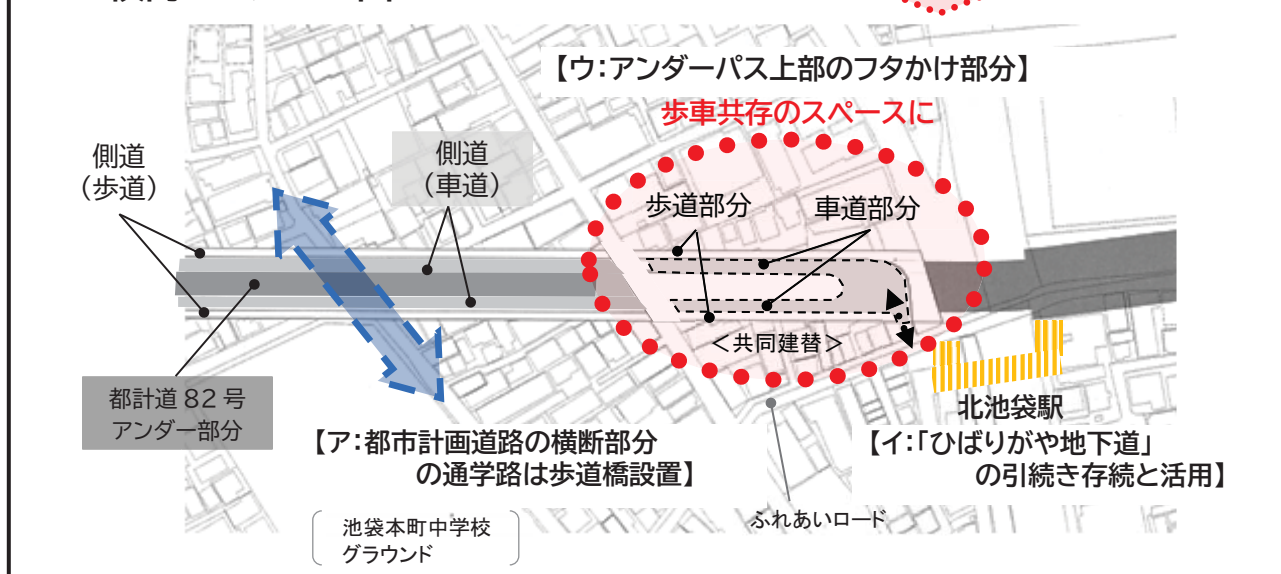
さらに、両案のデメリットを補う工夫を加えた新たな案の検討を行い、最終的に、「アンダーパス上部のフタかけ部分の考え方」について、以下のようにまとめました。



<アンダーパス上部のフタかけ部分の考え方>

- ☆歩道と車道の境界はできるだけ段差をつけないで、歩行者と車両が共存するスペースになるように(点線で表現)
- ☆車道と歩道は、舗装や色彩などで区別ができるように
- ☆広場として、車道部分、歩道部分を一体的に利用できるように
- ☆高齢者等が車で駅にアクセスができるように
- ☆沿道の建物の建替えや出入り等に不都合がないように
- ☆ふれあいロードには、時間を限定するなど通り抜けを工夫して、商店街の交通が激しくならないように

<検討のイメージ図>



東京都第四建設事務所と意見交換しました

2025年(令和7年)1月27日、第4回池袋本町新しいまちづくりの会に、東京都第四建設事務所の担当者にご出席いただき、意見交換を行いました。

東京都より、補助第73号線と82号線の進捗状況の説明を受けたあとに、当会から令和6年度の検討のまとめ(左ページ)を報告しました。

東京都からは、アンダーパス部の道路構造に関する検討については、「具体的な内容は検討中であり、本日の地元の意見を参考に、今後、交通管理者と協議しながら検討を進めていく」との話がありました。

補助第82号線を横断するための歩道橋については、「側道の歩道部分が狭くなり、歩行者や自転車が通行しにくくなるため、設置は難しい」とのこと。



また、北池袋駅周辺でまとまって用地取得ができたところは、歩行者が北池袋駅にアクセスしやすいように、仮設歩道の整備を検討していくことが説明されました。

そのほか、会員から、「年に1回程度は説明を行ってほしいこと」や「今後の設計や工事のスケジュールを早く示してほしい」などの意見を伝えました。

池袋本町商人まつりの報告

2024年(令和6年)10月13日(日)、14日(月・祝)に開催された「池袋本町商人まつり」に、新しいまちづくりの会も参加しました。

今年は2日間ともに晴天に恵まれ、多くの方に当会のブースへお越しいただきました。

ブースでは、例年通り子どもが楽しく遊ぶおもちゃコーナーを設置したほか、展示として北池袋駅周辺に関する意見書や、能登半島地震による輪島朝市通り火災の被害状況が分かる写真を掲示しました。

また、「まちづくりの目標の実現に向けた取り組み課題」について、関心のある項目にシールを貼り、ご意見を付箋紙に記入していただくコーナーも設けました。ご意見をくださった方への景品は、2日目の昼頃にはすべて配布し終えるほどの盛況ぶりでした。

ご参加いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。

来年度は、いただいたご意見を踏まえ、今後のまちのあり方について検討していきます。



左上/右上写真:
まちづくりの課題について意見を頂く

左写真:
子ども向けのおもちゃコーナー

下写真:まちづくりへの意見のまとめ

